

平成23年11月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成23年11月25日（金）午前10時00分～午前10時56分
- 2 場 所 所沢市立教育センター 第1研修室
- 3 出席者 [委員] 富田常世委員長、清水三和子委員長職務代理者、守谷靖委員、京谷圭子委員、佐藤徳一教育長
[事務局] 山寄裕司教育総務部長、平塚俊夫学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、江田宏樹学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、金子美也子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、鈴木正行文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齋藤敏男教育センター所長、岸健次教育総務課主幹兼教育企画室長、山口勝彦学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 別添のとおり（3名）

- 6 開 会 本日の議案は、議案第31号と追加議案第32号の合計2件。
議案第31号「県費負担教職員の人事に関する内申について」及び議案第32号「県費負担教職員の人事に関する内申について」は、人事に関する審議のため、公開しないこととしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

【 関係者以外（傍聴者含む）退室 午前10時03分 】

7 議 題

- 議案第31号 県費負担教職員の人事に関する内申について
資料に則り、平塚学校教育部長から説明がなされた。
- ※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

- 議案第32号 県費負担教職員の人事に関する内申について
資料に則り、平塚学校教育部長から説明がなされた。
- ※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 退室者入室 午前10時19分 】

8 協議事項

- 平成24年度所沢市立所沢第二幼稚園の園児募集及び教室の増設について資料に則り、江田学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。以下、質疑。

(清水委員長職務代理者)

確認だが、現在、入園希望者が38名いて、増築するプレハブ園舎が平成24年9月に完成するまでは、1つの教室で対応することになる。その場合、活動に支障がないように、38名で募集を止めるということか。

(江田学校教育部次長)

例年ですと、70名の定員に達するまでは、途中入園を認めておりましたが、今回の場合は当面1つの教室での対応になりますので、これ以上園児数が増えますと活動に影響することから、増築分の園舎が完成するまでの間、募集を停止させていただきたいと考えております。

(佐藤教育長)

所沢市立幼稚園運営協議会の答申について説明して欲しい。

(平塚学校教育部長)

所沢市立幼稚園運営協議会の答申の内容は3つありましたが、そのうちの1つが、「二園を廃止することが論理的に望ましい。実施の時期は、その園の状況の最適タイミングを捉えるべきである。」というものでした。これを受けて、昨年度末に所沢幼稚園を閉園いたしまして、現在は所沢第二幼稚園のみ存続している状況です。この答申の内容を尊重していくという基本的なスタンスは変わりませんが、市長の強い意向と、教育環境の均等性を少しでも高めたいということを経合的に勘案しまして、現状の38名で募集を抑えて、新しい教室ができるまでの間、現状の1教室で対応していきたいということでございます。所沢第二幼稚園の今後の方向につきましては、所沢市立幼稚園運営協議会の答申を尊重していきますが、閉園の時期や園児の募集人数につきましては、今後も引き続き検討していきたいと考えております。

(富田委員長)

プレハブを増築することで、園庭の基準は満たされるのか。

(田中教育施設担当参事)

学校の校庭と違い、幼稚園の園庭には細かい基準はございませんので、大丈夫だと思います。

(守谷委員)

園庭については、園児数に応じた規定があるのではないか。

(平塚学校教育部長)

もともと4教室ありましたので、今回1教室増築しても従前と変わらないので、基準はクリアできるものと考えます。

(清水委員長職務代理者)

そもそもプレハブの園舎にしたのは、従来の園舎が耐震基準を満たしていなかったからだと思うが、答申に基づき閉園に向かっているから、プレハ

ブにしたと考えられる。プレハブの園舎は、現地は確認していないが、従来の園舎に比べると過酷な状態なのではないかと思う。閉園までの間に合わせてプレハブを増築するという意味だと私は思うのだが、そうだとすると、来年の9月にプレハブが完成したら、残り半年はそのままだとしても、翌年度にさらに70名まで募集していくとなると、さらに増築が必要になるのではないかと思うのだが。最初は、ホールの一部を教室として使用するということがあったが、38名の園児が1クラスでも過酷なのに、さらに間に合わせてプレハブの園舎というのは、何か矛盾しないだろうか。プレハブは閉園までの措置であるという前提があるのだから、個人的にはよく分からない印象だ。

(江田学校教育部長)

プレハブといっても普通の園舎より立派なものになっています。エアコンもついて、既設の3教室と変わらないものです。

(田中教育施設担当参事)

プレハブといっても「仮設」という意味ではなく、「工場生産」という意味であり、在来工法と比べて劣るものではなく、いわゆる本建築です。

先ほどの園庭の面積に関しましては、調べて後ほどお知らせいたします。

(京谷委員)

1クラス増えた場合に、幼稚園教諭の人数は足りるのか。

(江田学校教育部長)

現在でも4クラス分の教諭が配置されておりますので、問題ありません。

(富田委員長)

それでは、各委員から出された意見等を踏まえた対応をお願いしたい。

9 報告事項

- 教育委員会交際費の公開について（教育総務課）
- 第29回「所沢で第九を」演奏会について（社会教育課）
- 第65回成人のつどいについて（社会教育課）
- 第22回所沢シティマラソン大会の開催について（スポーツ振興課）
- 滝の城跡第1次発掘調査現地説明会の開催について（文化財保護課）
- ふるさと研究秋季企画展「震災を考える」について（生涯学習推進センター）
- 市民学芸員養成講座（第2期）の開催について（生涯学習推進センター）
- 秋の叙勲等について（学校教育課）
- 平成24年度の学期制に関わって（学校教育課）

10 その他

- ・教育委員会 12月定例会：12月22日（木）午後3時30分～ 602会議室
- ・教育委員会 1月定例会：1月25日（水）午後1時30分～ 新所沢公民館

11 閉会 午前10時56分

※ 会議終了後、山寄教育総務部長、森沢教育施設課主幹から、幼稚園の園庭の面積に係る報告がなされた。内容は以下のとおり。

幼稚園の運動場の必要面積につきましては、学校教育法第3条の規定に基づく「幼稚園設置基準」がございまして、その基準の第8条第3項に規定されております。その規定によりますと、運動場の必要面積は学級数に応じて算定されることになり、所沢第二幼稚園のように4学級の場合は、必要面積は480平方メートルとなります。今回の所沢第二幼稚園の増築につきましては、敷地の中央部分に23m×23mの529平方メートルの運動場を確保できるように計画いたしましたので、当該基準を満たしていることとなります。